

令和2年3月1日発行

社会福祉法人

能美市社会福祉協議会広報誌

視覚に障がいのある方等で、広報誌の音訳テープを聞いてみたいと思われる方は、社会福祉協議会までお知らせ下さい。

社会福祉のみ

第59号

ほほえみ

第3次能美市地域福祉活動計画の
こころ豊かな地域づくりの会 及び 評価委員会の委員のみなさん



来てね～お待ちしてま～す

開催中です!

目次

- 2P 地域福祉セミナー／
心配ごと相談委員嘱状交付式並びに研修会
- 3P こころに寄り添い合う『人づくり講座』／
『つなぐ号』出発式／歳末お見舞い金贈呈事業
- 4P 絵本カフェ／フォローアップ研修
- 5P 地域福祉委員会特集
- 6P 相談日のお知らせ／これからの予定／寄付御礼／
会員会費最終報告
- 7～8P 能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターだより



第3次能美市地域福祉活動計画
(2018年度～2022年度) 2年目の取り
組みを報告し、福祉のまちづくりをとも
に考える「春まちぽかぽかプロジェクト」
(2/22～3/1) が開催中です。
3月1日(日)には、「能美たすかったわ
～大賞」と「能美ぽかぽかフォトコンテス
ト」の表彰式も行われます。
どなたでもお気軽にご参加ください!

社会福祉協議会の事業に対するご意見やご要望をお気軽にお寄せ下さい。

「地域福祉セミナー」を開催しました

1月26日(日)寺井地区公民館において、各町会・町内会の地域福祉委員会(地区福祉委員会を含む)の見守りや支え合いの活動、更には日常生活の助け合い活動を充実させることを目的に開催された「地域福祉セミナー」に、町(内)会長や民生委員・児童委員、福祉推進員など175名が参加しました。

セミナーは、共生社会の実現に向けて、「誰もが役割・出番・居場所を持って活躍できる地域づくり」をテーマに、同志社大学社会学部永田教授による基調講演がありました。続いて、市の地域福祉計画及び社協の地域福祉活動計画の位置づけや地域福祉委員会の意義と役割について、行政等の施策や、根上・寺井・辰口の各あんしん相談センター、くらしサポートセンターのみの相談体制が紹介されました。

参加者は、日常での助け合いや交流の場・集いの場の必要性を理解し、町会・町内会ごとの今後の取り組み方について、熱心に話し合いました。



永田先生の基調講演の様子



地域福祉委員会の取り組みを話し合いました



心配ごと相談所相談員委嘱状交付式並びに研修会を開催しました

1月14日(火)、ふれあいプラザにおいて、任期満了に伴う心配ごと相談所相談員委嘱状交付式を開催しました。今回、委嘱を受けた相談員は、再任16名、新任11名の合計27名で、市社会福祉協議会 勝山専務理事兼事務局長より委嘱状が渡されました。

引き続き行われた、研修会では、「相談員としての寄り添い方」と題し、こちらの相談員&講師の坂尻他津子氏より、相談者への対応の仕方や心配えについてご講演をいただきました。

「心配ごと相談所」は、民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員を相談員として、各地区(根上・寺井・辰口)にて月1回ずつ開催し、住民の日常生活上の悩みや相談に応じ、関係機関につなぐいだり、必要な情報などを提供しています。

委嘱された相談員の方々は次の通りです。

〔任期・令和元年12月1日～令和4年11月30日〕

〔根上地区〕

山崎 静男、山本 孝治、中村 忍、佐々木 久美子、朝倉 裕樹、吉田 猛志、牧林 和美、丸山 喜美枝、本多 他家志

〔寺井地区〕

生田 絹代、森 義久、姫崎 実、富田 静香、中村 司、荒木 祐子、竹本 志津子、二羽 一弥、中浦 八重子

〔辰口地区〕

中村 三朗、北山 省治、小路 雅広、小梁 玲子、元山 洋、畑中 茂伸、村本 淳子、福田 攝子、清水 一雄
(順不同敬称略)

▽心配ごと相談所の開催日時、会場についての詳細は本誌6ページをご覧ください。



「こころに寄り添い合う」「人づくり講座」開催 障がいを知り学ぶ 2月8日(土)

第3次能美市地域福祉活動計画「こころに寄り添い合う人づくり委員会」では、多くの方に、精神に障がいのある方への理解を深め、「相手のことを思い」、気持ちに寄り添った「関わり方」について考えてもらう機会として「こころに寄り添い合う人づくり講座」を開催しました。能美地域活動センターはまかせ(中ノ江町)を会場に、43名が参加されました。

施設管理者の高田茂氏より、施設の概要や精神疾患について説明があり、「精神疾患は誰にでも起こりうる可能性がある」とある脳の病気であり、育児方法や家庭環境が、直接原因となる病気ではないこともわかってほしい」と話されました。

その後、グループごとに話し合い、当事者の方に各グループに入って頂き、その思いを聞きながら皆で意見交換をしました。

これからも障がいへの理解を深め、広げていくためには、地域でどのような寄り添い方ができるのか、啓発活動として「地域で考える機会」を増やしていくことが大切であることを確認しました。



グループワークでは、当事者の思いに寄り添ながらあたたかな雰囲気の中、語り合いました

～参加者からの声～

- *当事者の方と直接お話しができ、勉強になった。
- *『やさしい声かけに心がける』ことを改めて考えさせられた。
- *精神障がいについて少し理解ができた。
- *地域につながっていくためには、周りの理解が大切だと感じた。
- *当事者の思いを聞き、その思いに触れる機会が必要と感じた。

粟生町地域福祉委員会の 買い物支援活動が始まりました。 みんなの思いをつないで 「つなぐ号」が発売します。

12月13日(金)、午前10時「つなぐ号」の発売式が行われ、粟生町地域福祉委員会が買い物支援活動を開始しました。早速4人の高齢者が乗車し、市内の食料品スーパー、衣料品店をゆっくり回り、日用品を中心に買い物を楽しみました。今後も毎週木曜日に実施されます。

粟生町地域福祉委員会では、昨年春より、地域の食料品店がなくなり、買い物に困っている方々がいることを知り、地域住民同士の助け合いとして協力者を募り、市内の店舗を回る活動を考えていました。また、買い物支援活動の「車両」については、ちょうど能美市商工女性まちづくり研究会より、月2回実施している移動販売時以外は使用しない伴走車(8人乗り乗用車)を地域での助け合い活動のために貸し出したこととの相談を受けていた社会福祉協議会が、「つなぐ号」貸出事業として「車両」を貸し出すことになりました。

買い物・外出支援の活動を検討中の町会(地域福祉委員会)はお気軽に社会福祉協議会までご相談ください。



出発後、初めての買い物では、乗り降りにも声を掛け合い、会話を楽しく喜ばれていました



地域の助け合いがさらに進むことを願い、関わった皆が手をつなぎ合いました

歳末お見舞い金をお届けしました!



市民から寄せられた「地域歳末たすけあい募金」(令和元年12月1日～12月31日実施)を、新たな年を迎える時期に支援を必要とされる方々(能美市内在住者・能美市出身の生活困窮者や福祉施設入所者等)に対し、地域で安心して暮らすことが出来るように「歳末お見舞い金」を、お届けしました。

在宅の対象者219名には、各地区の民生委員・児童委員がそれぞれ訪問し、言葉を交わしながら、お見舞い金とともに温かい心もお届けしました。

「あたたかいお正月をお過ごしください。」と民生委員・児童委員からの声掛けに笑顔で喜ばれていました。

なお、31施設の入所者88名には社協職員が訪問し、お届けしました。



施設に入所されている方へお届けしました



能美市民生委員児童委員協議会での出発式の様子(根上地区)

絵本カフェでゆ〜ったり♪

令和元年12月21日(土)に、ふれあいプラザにおいて、今年度2回目の「絵本カフェ」が開催されました。

子ども達は、沢山の絵本の中から、好きな絵本を手に取り、大好きな人と一緒に読んで楽しんでいました。“ポクリコポケリカ”によるミニコンサートの生で聞く演奏はとても楽しく、音楽に合わせて、体を動かすなど子どもたちも大喜びでした。カフェコーナーでは、多くの方が、たくさん並んだ九谷焼のカップの中から、お気に入りの一つを選び“美育ネットワーク”の方に淹れて頂いた、おいしい飲み物で、ゆ〜ったりとしたひと時を過ごしました。



☆☆ ご存じですか? ☆☆

「能美市ファミリー・サポート・センター(通称:ファミサポ)ってなに?」

パパ・ママの代わりに、小学6年生までのお子さんの預かりや送迎などを地域の方が行い、子育てのお手伝いを行う住民相互の有償の援助活動です。

☆ 子育てのお手伝いが必要な方 「依頼会員」

★ お手伝いをしていただける方 「協力会員」

(協力会員の講習会を、年2回開催しています。)

活動は、受講してからになります。)

※ 依頼会員と協力会員を兼ねる「両方会員」もあります。

【活動例】

- ①小学生のお子さんを、16時に学童に迎えに行き、習い事に送迎。(活動時間:30分程)
 - ②産後のお母さんの代わりに、自宅⇄保育園の送迎。(活動時間:各30分程)
 - ③5ヶ月のお子さんを、お母さんの病院受診中に託児。(活動時間:2時間程)
- ※託児は、協力会員宅以外にも、普段遊びなれた子育て支援センターや児童館などでも可能です。
※活動は、協力会員(2~3名)が交代で行う場合があります。



お手伝いが必要な方、お手伝いしたい方、
ぜひ、ファミサポまでご連絡ください♪

(電話:0761-58-6230)

能美市ファミリー・
サポート・センター

フォローアップ研修を行いました!

1月29日・30日・2月7日・14日の4日間の日程で、フォローアップ研修会を開催しました。

研修では、子育て支援の役割や子どもの発達、障がいについての基礎知識などを学びました。

また、事故を未然に防ぐことを目的とした危険予知(リスクマネジメント)トレーニングをおこないました。活動場面に描かれたイラストをもとに、活動中に潜む事故や危険箇所などを、皆で話し合い確認しました。

今後も、安全・安心にサポートできるよう定期的に研修を行っていきます。



【参加者の声】

- ・子どもの成長には、安心感が一番大切なことだと思いました。
- ・子育てに不安を感じているママ達にも、こういう話を聞く機会がもっとあるといいなと感じました。
- ・フォローアップ研修では、障がいについて初めてしっかり学ぶことが出来ました。

浜開発町地域福祉委員会

およそ150世帯の浜開発町は、根上中学校・浜小学校が目と鼻の先にあり、大成・下ノ江・浜町と大きな町会には含まれた、こじんまりとしたアットホームな町です。また、昨今の御多分にもれず少子高齢化の中で、地域福祉―自助・共助・近助―に取り組みやすい人達の集合体でもあります。

・住民流支え合いマップづくり

手始めにマップづくりを実施しました。3分の1の50世帯程度を対象に、男女7人で行ったのですが、特に女性陣は「近所さんをしつかり見ている事が分かりました。見守るといふ力んだ意識ではなく「今日もお元気だわ」と自然体で気にかけている様子です。見掛ければ声をかけ、ゴミ出し時の立ち話、畑でのおしゃべりも活発で、そこから貴重な情報が得られたりもします。が、同じ町内でも少し離れると分からないことが多く、今後は30世帯単位でマップづくりを継続する予定です。

・いきいきサロン

月4回、ほぼ毎週の木曜日の午後、公民館で2時間弱のおしゃべり会です。(1・2月は冬休み)たんぼの会というグループで、支えられる側と支える側サポーター25名での運営です。サポーターは4班に分かれ、各週担当が知恵を出し合ったり、作品作りや手遊び等脳トレをしたり、楽しく合唱したり、ゲームをしたりと笑顔で過ごすことを心掛けています。コーヒータイムでお菓子を頂き、しゃ



小学生との交流



いきいきサロン ある日のお茶会

べって笑って、サザエさん体操をしてお開きです。また、時にはイベントとして出張学習会や演芸ボランティアさんのショー、さらに町内有識者による老後に役立つお話の会等もあります。昨年は初めての試みで、町内PTAのご協力で小学生との交流会をしました。終戦記念日のある8月の夏休み中に行ったのですが、いきいきサロン参加者の御一人から御自身の戦争体験を語りたいとの申し出があり、全員参加のゲームを楽しんだ後、町が空襲される様子を描いた手作りの紙芝居でその体験を話されました。そのお話は、核家族社会のなか、子供達はもとより中高年のサポーターにも得難い出来事でした。そして恒例の年納めは12月のクリスマス会です。担当サポーターが日頃の腕をふるった豚汁でお弁当を頂きます。デザートのお菓子もいつもより豪華で、あまり参加しない一人暮らしの方

も強引に誘い出し、演芸を楽しみ談笑し、大いに盛りあがります。

・高齢者宅の粗大ゴミ収集

一人暮らしの方と高齢者のみの世帯を対象に、年に1回の実施です。昨年は、10戸について収集、2tトラックで、美化センターへ持って行きました。玄関先に出してもらおう事を前提に予め有無を確認するのですが、対象世帯も品物も増える一方です。

・今後の課題

課題もはつきりみえてきました。

いきいきサロンに集う人々の固定化は、今一番の問題です。大勢の人の中には入りたくないとか閉じこもりではないが、積極的に外に出たくない等の本当は来てほしい方の誘い出しや、男性も集えるような場を作りたいと話合っています。さらには支える側のサポーターの増員も大切です。離職年齢が高くなっているせいか思っている以上に集まりません。粗大ゴミ収集にしても同じで、増える一方の該当世帯に対し、収集作業に携わる人の確保も大変です。高齢者のみの家庭が急激に多くなっていく今後、町会の全員で見守り合い、助け合っていかなければならないと、委員会活動をするなかで実感しています。個々のプライバシーを尊重しつつ、我が地域のことや我が事として考えらるるように、地道に活動を続けていこうと話合っています。

浜開発町地域福祉委員会

委員長 澤田 祐司

相談日のお知らせ (令和2年3月～令和2年5月分)

気軽にお問い合わせ下さい!



● 弁護士無料法律相談 **要予約** 13時30分～15時30分

| 相談日 | 開催場所 |
|------------------------|------------|
| 3月12日(木)、24日(火) | 能美市ふれあいプラザ |
| 4月 2日(木)、20日(月)、28日(火) | |
| 5月12日(火)、18日(月)、28日(木) | |

● 行政書士無料相談 **要予約** 13時30分～15時30分

| 相談日 | 開催場所 |
|----------------------------------|------------|
| 3月19日(木) 4月16日(木) 5月21日(木) | 能美市ふれあいプラザ |

※弁護士無料法律相談・行政書士無料相談については、時間は一人およそ30分、1日4名迄です。(問合せ ☎58-6603)

● 心配ごと相談 13時30分～15時30分

| 地区 | 開催日 | 開催場所 | 問合せ |
|------|-------|------------|------------|
| 根上地区 | 毎月25日 | 根上窓口センター | (☎58-6603) |
| 寺井地区 | 毎月 5日 | 能美市ふれあいプラザ | |
| 辰口地区 | 毎月15日 | 辰口福祉会館 | |

● 親子サロン 9時30分～13時30分 (問合せ ☎58-6200)

| 地区 | 開催日 | 開催場所 | 対象 |
|------|-----|---------------------|--------------------------|
| 根上地区 | 水曜日 | 西二口町公民館(コミュニティセンター) | 妊娠中の方や 未就園児と そのご家族 |
| 寺井地区 | 木曜日 | 粟生コミュニティセンター | |
| 辰口地区 | 火曜日 | 岩内コミュニティセンター | |

※お休み 根上地区:4月29日、5月6日 辰口地区:3月31日、5月5日 ※5週目はお休みになります。

● ほっとあんしんサロン 13時30分～15時30分

| 開催日 | 開催場所 | 問合せ |
|----------------------------------|------------|------------|
| 3月11日(水) 4月 8日(水) 5月13日(水) | 能美市ふれあいプラザ | (☎58-6200) |

※高齢期を迎えての健康や、暮らし方の不安、また介護をしているの心の悩みなど、日頃の思いを気軽に語り合いませんか。「能美市介護を考える会」会員がスタッフとしてお待ちしております。どなたでも、お気軽にご参加下さい。

令和元年度 能美市社会福祉協議会 会員会費の最終報告とお礼

今年度は推進月間を2ヶ月に拡大し募集に取り組みました。
ご協力頂き、ありがとうございました。
最終報告となります。(令和元年12月31日)

最終報告

| | | | |
|-------------|------------|--------|------------|
| 正会員 | 個人会員 | 914人 | 914,000円 |
| | 組織・団体・法人会員 | 85社 | 425,000円 |
| 賛助会員 | 個人会員 | 3,849人 | 1,977,000円 |
| | 団体・企業 | 244社 | 887,000円 |
| | 合計 | | 4,203,000円 |

組織・団体・企業からの会費納入一覧 (敬称略)

※ほへみ第58号記載以降の納入分

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 正会員 | 岩内町 (株)中東 |
| 賛助会員 | 粟生町 北陽エンジニアリング(株) 小松市 (株)丸菱 |



寄付御礼

令和元年11月21日～令和2年2月18日 (敬称略)

ありがとうございました

- ・粟生町五五厄年一同
- ・登り窯 やまぼうしの会
- ・北陸労働金庫能美支店 地域推進委員会
- ・中西 弥幸 (小長野町)

これからの予定 令和2年3月

| | |
|------------------|-------------------------------|
| 2月22日(土)～3月1日(日) | 春まちばかばかプロジェクト |
| 3月10日(火) | 辰口地区ひな弁当 |
| 3月24日(火) | 第64回理事会・第60回評議員会 (ふれあいプラザ) |

2 情報

ボランティア活動保険新規加入・更新のご案内

ボランティア活動中の事故やけがを補償する全国社会福祉協議会のボランティア活動保険の加入・更新の時期です。能美市ボランティアコミュニティ活動支援センターに登録する方を対象に、ボランティア活動保険の掛け金を能美市社会福祉協議会が助成しています。※掛け金の助成については、行政より保険の助成がある場合は対象外となります。

- 対象活動**…日本国内における自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動
補償金額…基本プラン（死亡保険金 後遺障害保険金1,040万円(限度額)、通院保険金日額4,000円)
補償期間…令和2年4月1日～令和3年3月31日

支払い対象の主な活動

- (1) 傷害保険（ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶発な外来の事故）
- (2) 賠償事故（ボランティア活動中に発生した偶然な事故により、他人にケガをさせたり、物を壊したりしたことにより、法律上の損害賠償責任を負われた場合）

ボランティア活動保険について詳しく知りたい方は、ボランティア・コミュニティ活動支援センター（☎58-6200）までお問い合わせください。

助け合いに役立つ収集活動にご協力をお願いします!!

| 集めているもの | 収集整理している団体 | 送付 | どんなことに役立つの？ |
|---|--|---|---|
| ベルマーク  | ボランティアグループ 山ぼうしの会 | ベルマーク財団  | ベルマークは、整理、計算して財団に送ると1点が1円に換算。学校の教材備品を購入。また、教育援助活動に使われます。 |
| 使用済インクカートリッジ (キャノン・エプソンのみ) | 使用済み切手は、消印が残るように切り取ってね!  | キャノン・エプソン | 使用済インクカートリッジの回収を通じて、ベルマーク運動に参加。用途は、上記の通りに使われます。 |
| 使用済み切手 書き損じハガキ 使用済テレフォンカード プリペイドカード | | <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人 ジョイセフ(東京都) ・特定非営利活動法人「誕生日ありがとう運動本部」(神戸市) | <ul style="list-style-type: none"> ・アジア・アフリカ中南米の発展途上国の保健活動（予防接種や保健師の活動）の助成に使われます。 ・障がい者問題に取り組む福祉活動に使われます。 |
| エコキャップ | NPO法人能美市作業所連合「一歩」(宮竹町) *直接ご持参頂いて結構です | 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 | エコキャップをリサイクルし、世界の子どもたちのワクチン購入費に使われます。(キャップ860個で1人分が購入できます) |
| プルタブ | 能美市社会福祉協議会 | 金属廃品回収業者にて換金し車椅子を購入。市内福祉施設等へ寄付します。車いす1台購入するのに約650kg必要です!(時価で変動あり) | |

持ち込み場所 能美市社会福祉協議会(ふれあいプラザ)、白寿会館、亀齢荘、G-Hills(ジーヒルズ)に収集ボックスを設置しています。

皆さん! こちらへ



プルタブ収集のご報告

いつもたくさんの団体や個人の皆さんからご協力いただき、誠にありがとうございます。R1.12月～R2.1月の期間、プルタブの収集にご協力下さった方々を一部紹介します。

宮竹保育園 3.7kg、 宮竹小学校 19kg

(敬称略・順不同)



地域で暮らす一員として、だれもがボランティア活動を行いたいものです。できることをできるだけ!

こちらからは能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターだより

通称:「ボランティアセンター」だより

最新ボランティア登録数
(R2.11現在)
3,801人(個人も含め)
99グループ

こちら側からの2ページは、ボランティアに関する活動報告や、“知って得する、役立つ”情報を掲載しています。皆様からのご質問にもお答えしますので、どんどんホットな情報やお声をお寄せください。



1
報告

令和元年度 ジュニアボランティアクラブ活動報告

12月7日(土)の振り返り会をもって、市内施設でのボランティア体験や、ボランティア団体の指導による福祉体験、イベント等でのボランティア体験全4コースの活動が終了しました。(全4コース、9組 延べ73人 参加)

振り返り会では、今回の体験の感想を共有し、これから何ができるかを確認しました。

参加者はボランティア活動を通して、相手の気持ちになって考えてみることや、人を思いやる心の大切さに気づくことができました。



「利用者さんとのふれあいを楽しみました」



「赤い羽根共同募金への協力を呼びかけました」



「ボランティア活動の振り返りを行いました」

参加者の感想(敬称略)

- 困った人に声をかけることができよかったです。次回は積極的に大きな声を出したいです。(柴田 廉)
- サフランのコーナーにお客さんがいっぱい来たけど、だんだんと慣れてきて楽しかったです。(小山 永貴)
- 子供達と接する利用者さんの嬉しそうなお顔を見て、こっちも笑顔になりました。みんなでレクリエーションを一生懸命、楽しめる事が素敵でした。(保護者)

《企業の地域貢献・ボランティア活動紹介コーナー》

連載No.25 根上郵便局 大成町

能美市内の郵便局では、市内の小学校の3年、4年生を中心に「手紙の書き方教室」を開催してまいりました。現代はスマートフォンという便利な通信手段がある時代ではありますが、手紙で伝える文化、自分で文字を書く、自分を表現する子供たちの心を育てることに少しでもお手伝いできればということで授業をさせていただきました。

また、2月18日(火)には社会福祉協議会 企業ボランティアセミナー「手話講座」を受講しました。能美市内全郵便局の社員一人一人が、手話が言語であることを理解し、コミュニケーションの輪がひろがる郵便局づくりを進めていきたいと思っております。



根上郵便局長
軽海 和義氏



社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

✉ nomi@nomi-shakyo.jp
ホームページ <https://www.nomi-shakyo.jp>

〒923-1121 石川県能美市寺井町た8番地1 能美市ふれあいプラザ 2階

- | | |
|--------------------------|---|
| ● 法人事務局 | (☎ 0761-58-6200 FAX 0761-58-6250) |
| ● ボランティア・コミュニティ活動支援センター | ☎ 0761-58-6200 FAX 0761-58-6250 ホームページ https://nomi-vc.net |
| ● ファミリー・サポート・センター | (☎ 0761-58-6230 FAX 0761-58-6250) |
| ● ぐらしサポートセンターのみ | (☎ 0761-58-6603 FAX 0761-58-6733) |
| ● 能美市社会福祉協議会 能美居宅介護支援事業所 | (☎ 0761-58-6005 FAX 0761-58-6733) |
| ● 寺井あんしん相談センター | (☎ 0761-58-6117 FAX 0761-58-6733) |
| ● 能美市老人福祉センター 白寿会館 | (☎ 0761-55-3149 FAX 0761-55-3149) |
| ● 能美市寺井老人福祉センター 亀齢荘 | (☎ 0761-57-2323 FAX 0761-57-4585) |



社会福祉協議会を語る不審電話にご注意ください。万が一、不審な電話に遭遇した時は、本会までご一報いただけると幸いです。